

第52期決算IR資料 平成30年9月期(第2四半期)

(平成29年10月1日～平成30年3月31日)

- | | |
|------------|------|
| (1) 決算概要 | p. 1 |
| (2) 当社について | p. 5 |

平成30年5月31日

決算概要

■ 損益計算書 ■

(単位:百万円)

	平成29年9月期第2四半期連結累計期間			平成30年9月期第2四半期連結累計期間		
	2016年10月～2017年3月			2017年10月～2018年3月		
	金額	百分比	前期比	金額	百分比	前期比
売上高	8,255	100.0%	106.9%	8,697	100.0%	105.4%
売上総利益	3,364	40.8%	99.6%	3,330	38.3%	99.0%
営業利益	989	12.0%	94.0%	919	10.6%	93.0%
経常利益	992	12.0%	94.3%	917	10.6%	92.5%
税金等調整前四半期純利益	992	12.0%	94.3%	917	10.6%	92.5%
法人税等	324	3.9%	86.6%	278	3.2%	85.8%
四半期純利益	667	8.1%	98.5%	639	7.4%	95.8%
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	0.1%	103.9%	31	0.4%	454.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	660	8.0%	98.4%	608	7.0%	92.0%

(増減内訳)

(単位:百万円)

売上高	当社グループが関連する建設業界においては、東京都内でオリンピック関連工事が本格的に動き出しました。都心部の再開発工事やインフラ整備工事も活発におこなわれており、マンションや物流倉庫などの民間建築工事も増加しております。反面、東京都心部以外の周辺地区を始め、東北地区、中部地区、関西地区などは公共工事が減少しており、地域間格差が大きくなってきました。その結果、売上高は、前年同期比105%の8,697となりました。内訳としましては、賃貸収入が前年同期比99%の6,543、その他の売上高が前年同期比131%の2,154となりました。
経常利益	売上総利益は、レンタル資産の強化と整備拠点新設などの設備投資を進めたため、前年同期比99%の3,330となり、販管費は、前年同期比102%と伸びたため、経常利益は、前年同期比93%の917となりました。
四半期純利益	法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比92%の608となりました。

■ 貸借対照表 ■

(単位:百万円)

	平成29年9月期 連結会計年度		平成30年9月期 第2四半期連結会計期間		比較 増減		平成29年9月期 連結会計年度		平成30年9月期 第2四半期連結会計期間		比較 増減
	2017年9月末現在		2018年3月末現在				2017年9月末現在		2018年3月末現在		
	金額	構成比	金額	構成比	金額		金額	構成比	金額	構成比	金額
(資産の部)						(負債の部)					
I. 流動資産	8,491	49.8%	9,713	51.5%	1,221	I. 流動負債	5,663	33.2%	6,424	34.1%	761
II. 固定資産	8,573	50.2%	9,143	48.5%	569	II. 固定負債	2,239	13.1%	2,933	15.6%	693
1. 有形固定資産	7,919	46.4%	8,481	45.0%	561	負債合計	7,903	46.3%	9,357	49.6%	1,454
2. 無形固定資産	59	0.3%	72	0.4%	13	I. 株主資本	8,901	52.2%	9,210	48.8%	308
3. 投資その他の資産	595	3.5%	589	3.1%	△6	1. 資本金	1,167	6.8%	1,167	6.2%	—
						2. 資本剰余金	1,222	7.2%	1,221	6.5%	△0
						3. 利益剰余金	6,829	40.0%	7,137	37.9%	307
						4. 自己株式	△317	△1.9%	△316	△1.7%	1
						II. その他の 包括利益累計額	5	0.0%	5	0.0%	0
						III. 新株予約権	9	0.1%	8	0.0%	△1
						IV. 非支配株主持分	245	1.4%	273	1.5%	28
						純資産合計	9,161	53.7%	9,498	50.4%	336
資産合計	17,065	100.0%	18,856	100.0%	1,791	負債・純資産合計	17,065	100.0%	18,856	100.0%	1,791
						有利子負債	2,600	15.2%	2,996	15.9%	395

(増減内訳)

資産	売上債権の増加	658	売上高増加によるものであります。
	有形固定資産の増加	803	貸与資産の取得及び整備拠点新設によるものであります。
負債	仕入債務の増加	446	売上高増加に伴い原価が増えました。
	借入金・社債の増加	395	既存の借入返済・社債償還(404)に対し、借入金・社債(800)の調達を行いました。
	リース債務の増加	461	貸与資産のリース調達に伴う増加であります。

(単位:百万円)

■ キャッシュフロー計算書 ■

(単位:百万円)

	平成29年9月期 第2四半期連結累計期間	平成30年9月期 第2四半期連結累計期間
	2016年10月～2017年3月	2017年10月～2018年3月
	金額	金額
営業活動による キャッシュ・フロー	677	557
投資活動による キャッシュ・フロー	△137	△256
財務活動による キャッシュ・フロー	△352	44
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,341	2,648

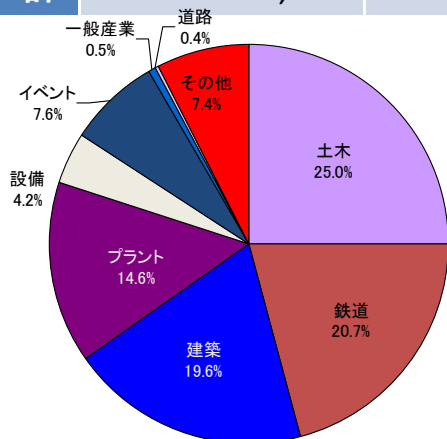
(当期の状況)

営業活動C F 貸与資産購入、売上債権増、法人税等納付がありましたが、四半期純利益、減価償却費、仕入債務増により資金増となりました。
 投資活動C F 整備拠点新設に伴う支出により資金減となりました。
 財務活動C F 社債償還、借入返済、配当金支払等の支出があったものの、社債・借入金による資金調達を行ったため、資金増となりました。

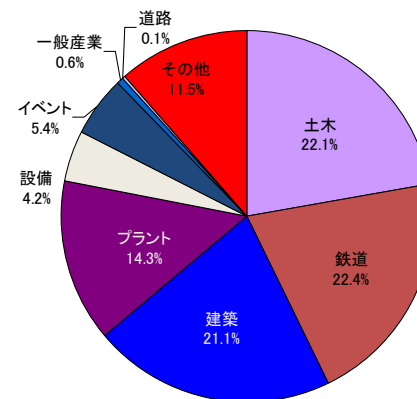
当社について

■ 売上種別構成比 ■

種 別	平成29年9月期(第2四半期)	
	売上高(百万円)	売上構成比
土 木	2,066	25.0%
建 築	1,616	19.6%
鉄 道	1,709	20.7%
プ ラ ン ト	1,209	14.6%
イ ベ ン ト	624	7.6%
設 備	344	4.2%
一 般 産 業	45	0.5%
道 路	31	0.4%
そ の 他	611	7.4%
合 計	8,255	100.0%



種 別	平成30年9月期(第2四半期)	
	売上高(百万円)	売上構成比
土 木	1,921	22.1%
建 築	1,835	21.1%
鉄 道	1,798	20.7%
プ ラ ン ト	1,243	14.3%
イ ベ ン ト	467	5.4%
設 備	369	4.2%
一 般 産 業	51	0.6%
道 路	9	0.1%
そ の 他	1,001	11.5%
合 計	8,697	100.0%



■ 事業所一覧 ■

関東・中部・関西の三大都市圏と大型プロジェクト
工事に拘り、お客様のニーズにお応えするべく
営業体制を整えております。

関西営業部 堺、京都、大阪東、大阪、神戸、川西
 特需営業部 大阪
 鉄道営業部 大阪、西日本営業課
 環境商材課
 関西ミニ建機課
 関西CSA課
 豊岡営業所

特需営業部 名古屋
 鉄道営業部 名古屋

東京支店 東京センター、軽機センター、
 クレーンセンター
 首都圏中央営業部 第一営業課、第二営業課
 首都圏環状営業部 羽田、足立、板橋、市川、練馬
 神奈川営業部 横浜、金沢、川崎、本牧
 西関東営業部 多摩、八王子、さいたま、調布
 特需営業部 浦安、京浜、京葉
 鉄道営業部 東京、東日本営業課
 車輛課
 販売部
 関東ミニ建機課
 関東CSA課
 レンタカー管理課
 発電システム課

鉄道営業部 九州

■ 当社基本データ ■



商号：	サコス株式会社（SACOS CORPORATION）
本社所在地：	〒141-0022 東京都品川区東五反田4-5-3
設立：	昭和42年9月8日（西暦1967年）
資本金：	11億6755万1500円（平成30年4月30日現在）
発行済株式総数：	4386万6681株（平成30年4月30日現在）
主な事業内容：	1. 機械・機器のレンタル 2. 機械・機器等の販売
役員：取締役会長	西尾 公志（ニシオ マサシ）
代表取締役社長	瀬尾 伸一（セオ シンイチ）
常務取締役	石川 忠（イシカワ タダシ）
取締役	夏目 正治（ナツメ マサハル）
取締役	外村 圭弘（トノムラ ヨシヒロ）
社外取締役（独立役員）	中村 仁（ナカムラ ヒトシ）
社外取締役（独立役員）	一樂 毅（イチラク タケシ）
常勤監査役	岡村 克昭（オカムラ カツアキ）
社外監査役（独立役員）	古田 茂（フルタ シゲル）
社外監査役（独立役員）	荒牧 知子（アラマキ トモコ）

サコス株式会社

<http://www.sacos.co.jp>